

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号
特許第5113651号
(P5113651)

(45) 発行日 平成25年1月9日(2013.1.9)

(24) 登録日 平成24年10月19日(2012.10.19)

(51) Int.Cl.

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

F I

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 4

請求項の数 3 (全 20 頁)

(21) 出願番号	特願2008-179441 (P2008-179441)	(73) 特許権者	000161806
(22) 出願日	平成20年7月9日(2008.7.9)		京楽産業. 株式会社
(65) 公開番号	特開2010-17313 (P2010-17313A)		愛知県名古屋市中区錦三丁目24番4号
(43) 公開日	平成22年1月28日(2010.1.28)	(74) 代理人	100076473
審査請求日	平成23年2月21日(2011.2.21)		弁理士 飯田 昭夫
		(74) 代理人	100112900
			弁理士 江間 路子
		(74) 代理人	100136995
			弁理士 上田 千織
		(74) 代理人	100150935
			弁理士 村松 孝哉
		(72) 発明者	泉 邦秋
			愛知県名古屋市中区錦三丁目24番4号
			京楽産業. 株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 パチンコ遊技機

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

センター役物が、
遊技球を上流側から下流側まで転動させるステージ部と、
遊技球を、前記ステージ部に開口させた流入口から流入させ、流出口から入賞口へ向けて流出可能とする入賞補助通路と、
前記ステージ部における遊技球の転動する下流側に配置されて、前記ステージ部の前縁から遊技球をセンター役物外へ排出可能な排出路と、
前記ステージ部に遊技球を入球させる入球口と、
を備えて構成されるパチンコ遊技機であって、
前記入賞補助通路内を通過する遊技球を減速させて前記流出口側へ案内するように、前記入賞補助通路内を通過する遊技球と接触可能な干涉部が、前記入賞補助通路の内周面に配設され、
前記ステージ部が、遊技球の転動する上流側となる上ステージと、該上ステージの下方に配置されて、遊技球の転動する下流側となる下ステージと、の少なくとも二つのステージを備えるとともに、
前記流入口が、前記上ステージ側に配設され、
前記センター役物が、
前記流入口の前側に配置されるとともに、上面側の支持面で前記下ステージ側の遊技球を受け止めて、前記流入口に流入可能とする前記上ステージ側に移送可能に、上下往復移

動可能なリフトと、

前記流入口に流入しなかった遊技球を、前記上ステージから前記下ステージにおける前記リフトの遊技球の受止エリアまで転動させて戻し可能な戻しルートと、

を備えて構成され、

前記入賞補助通路における前記流出口側の部位が、前記リフトの前記支持面の下方に配設され、

前記リフトが、下部側に、前記入賞補助通路の内周側に延ばして前記干渉部を配設させて構成され、

前記干渉部が、前記リフトの上下動に伴って、通過時の遊技球に対する減速状態を変動可能に、遊技球に対する接触抵抗を上下にわたって変化させるように、配設されていることを特徴とするパチンコ遊技機。

10

【請求項2】

センター役物が、

遊技球を上流側から下流側まで転動させるステージ部と、

遊技球を、前記ステージ部に開口させた流入口から流入させ、流出口から入賞口へ向けて流出可能とする入賞補助通路と、

前記ステージ部における遊技球の転動する下流側に配置されて、前記ステージ部の前縁から遊技球をセンター役物外へ排出可能な排出路と、

前記ステージ部に遊技球を入球させる入球口と、

を備えて構成されるパチンコ遊技機であって、

20

前記入賞補助通路内を通過する遊技球を減速させて前記流出口側へ案内するように、前記入賞補助通路内を通過する遊技球と接触可能な干渉部が、前記入賞補助通路の内周面に配設され、

前記ステージ部が、遊技球の転動する上流側となる上ステージと、該上ステージの下方に配置されて、遊技球の転動する下流側となる下ステージと、の少なくとも二つのステージを備えるとともに、

前記流入口が、前記上ステージ側に配設され、

前記センター役物が、

前記流入口の前側に配置されるとともに、上面側の支持面で前記下ステージ側の遊技球を受け止めて、前記流入口に流入可能とする前記上ステージ側に移送可能に、上下往復移動可能なリフトと、

30

前記流入口に流入しなかった遊技球を、前記上ステージから前記下ステージにおける前記リフトの遊技球の受止エリアまで転動させて戻し可能な戻しルートと、

を備えて構成され、

前記入賞補助通路における前記流出口側の部位が、前記リフトの前記支持面の下方に配設され、

前記リフトが、下部側に、前記入賞補助通路の内周側に延ばして前記干渉部を配設させて構成され、

前記干渉部が、遊技球の前面側を受け止め可能な受止面を備え、前記リフトの下降時に、前記受止面を遊技球の前面側から離脱させるように下降移動させることにより、遊技球を減速させて通過させていることを特徴とするパチンコ遊技機。

40

【請求項3】

センター役物が、

遊技球を上流側から下流側まで転動させるステージ部と、

遊技球を、前記ステージ部に開口させた流入口から流入させ、流出口から入賞口へ向けて流出可能とする入賞補助通路と、

前記ステージ部における遊技球の転動する下流側に配置されて、前記ステージ部の前縁から遊技球をセンター役物外へ排出可能な排出路と、

前記ステージ部に遊技球を入球させる入球口と、

を備えて構成されるパチンコ遊技機であって、

50

前記入賞補助通路内を通過する遊技球を減速させて前記流出口側へ案内するように、前記入賞補助通路内を通過する遊技球と接触可能な干渉部が、前記入賞補助通路の内周面側に配設され、

前記ステージ部が、遊技球の転動する上流側となる上ステージと、該上ステージの下方に配置されて、遊技球の転動する下流側となる下ステージと、の少なくとも二つのステージを備えるとともに、

前記流入口が、前記上ステージ側に配設され、

前記センター役物が、

前記流入口の前側に配置されるとともに、上面側の支持面で前記下ステージ側の遊技球を受け止めて、前記流入口に流入可能とする前記上ステージ側に移送可能に、上下往復移動可能なりフトと、

前記流入口に流入しなかった遊技球を、前記上ステージから前記下ステージにおける前記リフトの遊技球の受止エリアまで転動させて戻し可能な戻しルートと、

を備えて構成され、

前記入賞補助通路における前記流出口側の部位が、前記リフトの前記支持面の下方に配設され、

前記リフトが、下部側に、前記入賞補助通路の内周側に延ばして前記干渉部を配設させて構成され、

前記干渉部が、遊技球の前面側を受け止め可能な受止面を備え、前記リフトの上昇時に、前記受止面を遊技球の前面側から離脱させるように上昇移動させることにより、遊技球を減速させて通過させていることを特徴とするパチンコ遊技機。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、ステージ部を転動する遊技球を、ステージ部に開口させた流入口から流入させ、流出口から入賞口へ向けて流出可能とする入賞補助通路が、センター役物に配設されて構成されているパチンコ遊技機に関する。

【背景技術】

【0002】

従来、パチンコ遊技機では、センター役物のステージ部上に入球する遊技球を、減速させて、ステージ部の下方の始動入賞口（スタートチャッカ）側に落下させるものが知られている（例えば、特許文献1，2参照）。

【0003】

また、従来のパチンコ遊技機では、ステージ部を転動する遊技球を、ステージ部の下方に位置した入賞口に入り易くステージ部から落下させるように、遊技球の流入口と流出口とを有して、ステージ部の下方側で貫通して配設される入賞補助通路を、センター役物に設けたものが知られている（例えば、特許文献3参照）。このセンター役物では、周囲に配置された飾り枠体の入球口から遊技球がステージ部に流入した際、ステージ部の左右方向の中央に開口した流入口に、遊技球が流入すれば、その遊技球が、ステージ部の下方に位置した入賞口の上方で開口した流出口から、入賞確率を高めて、入賞口側へ落下することとなっていた。

【特許文献1】特開2001-276342号公報

【特許文献2】特開2004-173931号公報

【特許文献3】特開2001-157742号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかし、従来の遊技球を減速させる構成のパチンコ遊技機では、ステージ部上に入球する際のワープ通路に、遊技球を減速させるような減速構造体を配設させているものであった。そのため、一旦、遊技球がステージ部上に入球して転動する状態となれば、遊技球は

10

20

30

40

50

、単に、始動入賞口側に落下するまで、転動する際の摩擦抵抗等の他に、減速されることが無く、始動入賞口側に落下する遊技球の始動入賞口への入賞確率を一層向上させる点に、改善の余地があった。

【0005】

また、従来の入賞補助通路を備えたパチンコ遊技機においても、流出口から落下するように流出する遊技球が、入賞口に入賞しない場合があり、一層、入賞確率を高めて、遊技球を流出口から流出させる点に、改善の余地があった。

【0006】

本発明は、上述の課題を解決するものであり、ステージ部上を転動した遊技球を、入賞口への入賞確率を高めて、ステージ部から流出可能なパチンコ遊技機を提供することを目的とする。

10

【課題を解決するための手段】

【0007】

本発明に係るパチンコ遊技機は、センター役物が、
遊技球を上流側から下流側まで転動させるステージ部と、
遊技球を、ステージ部に開口させた流入口から流入させ、流出口から入賞口へ向けて流出可能とする入賞補助通路と、

ステージ部における遊技球の転動する下流側に配置されて、ステージ部の前縁から遊技球をセンター役物外へ排出可能な排出路と、

ステージ部に遊技球を入球させる入球口と、

20

を備えて構成されるパチンコ遊技機であって、

入賞補助通路内を通過する遊技球を減速させて流出口側へ案内するように、入賞補助通路内を通過する遊技球と接触可能な干渉部が、入賞補助通路の内周面側に配設されていることを特徴とする。

【0008】

本発明に係るパチンコ遊技機では、入球口を経てステージ部上に入球した遊技球が、入賞補助通路の流入口に流入すれば、入賞補助通路内を通過して、流出口から入賞口側へ向けて流出される。その際、入賞補助通路内には、入賞補助通路内を通過する遊技球を減速させて流出口側へ案内するように、入賞補助通路内を通過する遊技球と接触可能な干渉部が、配設されており、干渉部により流出口から流出する遊技球は、減速されて、入賞口への入賞確率を高められて、入賞口側に向けて流出することとなる。

30

【0009】

勿論、ステージ部には、遊技球をステージ部から排出させる排出路が配設されており、遊技球が流入口に流入しなければ、排出路から排出されてしまう。

【0010】

そして、本発明に係るパチンコ遊技機の干渉部は、入賞補助通路内に配設されており、入賞補助通路自体が、流入口から流入した遊技球を、入賞口へ入り易くするように流出口から流出させるものであり、遊技球が流入口へ流入すれば、干渉部により、一層、入賞確率を高められて、流出口から入賞口側へ流出されることから、流入口の存在価値が高まり、流入口へ入るか、あるいは、排出路から排出されてしまうかと、遊技者にハラハラドキドキさせて、遊技の趣向性を向上させることができる。

40

【0011】

したがって、本発明に係るパチンコ遊技機では、ステージ部上を転動して流入口に流入した遊技球を、入賞口への入賞確率を高めて、ステージ部の流出口から流出させることができ、さらに、入賞補助通路の流入口の存在価値が高まり、流入口に入るか否かと、遊技者にハラハラドキドキさせることができ、遊技の趣向性を高めることができる。

【0012】

そして、ステージ部が、遊技球の転動する上流側となる上ステージと、上ステージの下方に配置されて、遊技球の転動する下流側となる下ステージと、の少なくとも二つのステージを備える場合には、流入口は、上ステージ側に配設して、センター役物には、流入口

50

の前側に配置されるとともに、上面側の支持面で下ステージ側の遊技球を受け止めて、流入口に流入可能とする上ステージ側に移送可能に、上下往復移動可能なリフトと、流入口に流入しなかった遊技球を、上ステージから下ステージにおけるリフトの遊技球の受止エリアまで転動させて戻し可能な戻しルートと、を設け、そして、入賞補助通路における流出口側の部位を、リフトの支持面の下方に配設するとともに、リフトには、下部側に、入賞補助通路の内周側に延びる干渉部を配設させて構成することが望ましい。

【0013】

このような構成では、遊技球が、上ステージの流入口に流入しなかった場合でも、戻しルートを経て下ステージ側に転動した遊技球を、リフトにより、流入口への流入を可能に、上ステージ側に移送でき、さらに、リフトが上下往復移動する移送動作を繰り返して、上記の戻しルートを利用して、遊技球が、排出路から排出する場合を除いて、ループ動作で入賞補助通路の流入口へ流入する可能性が生じ、遊技者に、入賞口への入賞の期待感を、一層、与えることができ、遊技の趣向性が向上する。そして、干渉部が、上下動を繰り返すリフトの下部側に、設けられており、別途、干渉部を配設しなくともよく、部品点数を少なく構成でき、そして特に、上下動を繰り返すリフトに干渉部が配設されているため、干渉部の遊技球に接触するタイミングや接触の程度を、リフトの上下動に伴って種々設定でき、遊技球の減速の有無や減速の程度の調整や設定を、容易に行うことができる。

【0014】

この場合、例えば、干渉部が、リフトの上下動に伴って、通過時の遊技球に対する減速状態を変動可能に、遊技球に対する接触抵抗を上下にわたって変化させるように、配設されていれば、遊技球の減速の有無や減速の程度の調整や設定を、容易に行うことができる。

【0015】

また例えば、干渉部に、遊技球の前面側を受け止め可能な受止面を設け、リフトの下降時に、受止面を遊技球の前面側から離脱させるように下降移動させたり、あるいは、リフトの上昇時に、受止面を遊技球の前面側から離脱させるように上昇移動させる構成とすれば、遊技球を、受止面で受け止めて停止させるように減速させ、その後、流出口側へ転動させることができ、流出口から流出する遊技球の速度を、入賞口への入賞確率をより高めるように、安定させることができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0016】

以下、本発明の一実施形態を図面に基づいて説明すると、実施形態のパチンコ遊技機（以下、単に遊技機と略す）1では、図1に示すように、遊技盤面2における外側レール3と内側レール4とで囲まれた遊技領域5を備え、遊技領域5には、その中央に、飾り枠体13に囲まれてセンター役物16が配設されている。センター役物16の後方には、液晶等で所定の図柄を表示する図柄表示装置14が配設されている。

【0017】

遊技領域5の飾り枠体13の周囲には、図示しない釘、風車6、普通入賞口7、賞球の無い入賞口8、始動入賞口9、電動チューリップ10、大入賞口11、アウト口12等の公知の部材が配設されて、図示しないハンドルを操作し、遊技球を外側レール3と内側レール4との間から遊技領域5に打ち出せば、遊技球は、普通入賞口7、賞球の無い入賞口8、始動入賞口9、電動チューリップ10、大入賞口11、アウト口12のいずれかに入球する。そして、遊技球が、普通入賞口7や開放時の大入賞口11に入賞すれば、所定数の遊技球を獲得でき、入賞口8に入賞すれば、抽選により電動チューリップ10を所定時間若しくは所定回数開放させることとなる。また、遊技球が、始動入賞口9や開放時の電動チューリップ10に入賞すれば、抽選により、大当たり、中当たり、小当たり等の当たりや外れが決定され、当たりとなれば、大入賞口11を、その当たりに応じて開放時間、開放回数、入賞個数等を制限して、開放することとなる。これらの作動や遊技フローは、公知のものであり、遊技盤面2の背面側に配置された図示しないメイン制御基板が、入賞時のセンシングに基づき、各種の作動信号を出力し、そして、メイン制御基板からの当た

りや外れ等の抽選結果に基づいて、図示しないサブ制御基板が、所定数の遊技球を払い出したり、所定のランプやスピーカ等を作動させつつ、所定の演出を図柄表示装置 14 に表示することとなる。

【0018】

そして、飾り枠体 13 で囲まれた実施形態のセンター役物 16 は、図 2 に示すように、ステージ部 19、ワープ通路 17、入賞補助通路 49、及び、リフト 60 を配設させて構成されている。ステージ部 19 は、飾り枠体 13 の下枠 13a 側に配置されて、遊技球 B を上面側でそれぞれ転動可能な上ステージ 20 と上ステージ 20 の下方に配置される下ステージ 32 との少なくとも二つのステージ 20、32 を有して構成されている。なお、実施形態では、図柄表示装置 14 に近い後部側に上ステージ 20 が配設され、下ステージ 32 が、前部側に配置されている。

10

【0019】

ワープ通路 17 は、図 1、2 に示すように、ステージ部 19 への遊技球 B の入球口となるもので、飾り枠体 13 におけるステージ部 19 の上方側の左枠 13b 側で開口した入口 17a から入る遊技球 B を、ステージ部 19 の上ステージ 20 の左縁側に転動可能に案内するように、配設されている。

【0020】

入賞補助通路 49 は、図 1、2 に示すように、流出口 51 を下ステージ 32 の下方に位置した始動入賞口 9 の上方で開口させ、また、上ステージ 20 の左右方向の中央付近に流入口 50 を開口させて構成されて、流入口 50 から流入した遊技球 B を、自重により、流出口 51 まで転動させ、流出口 51 から、始動入賞口 9 へ流出可能として、始動入賞口 9 への入賞を補助するために配設されている。この入賞補助通路 49 は、図 6 に示すように、上ステージ 20 の左右方向の中央付近に配置された流入口 50 から、上ステージ 20 の背面、下方、さらに、下ステージ 32 の左右方向の中央の下方に位置する流出口 51 まで、前後方向に沿った略 L 字状の通路として構成されている。そして、実施形態の場合には、入賞補助通路 49 における流出口 51 側の前後方向に沿って前下がりの直線状とした流出側通路 52 には、上方のリフト 60 側に延びる分岐通路 53 が配設されている。この分岐通路 53 は、リフト 60 に設けた後述する第 2 流入口 69 から流入した遊技球 B を、分岐通路 53 に流入させて、さらに、分岐通路 53 を経て流出側通路 52 に流入させ、そして、流出口 51 から始動入賞口 9 側へ流出可能に構成されている。ちなみに、実施形態の場合、流出側通路 52 の上部側の周壁がリフト 60 により構成されて、リフト 60 の上昇に伴って第 2 流入口 69 が上方に移動しつつ開口する際に、第 2 流入口 69 から流出側通路 52 までのリフト 60 内を通過する部位として、分岐通路 53 が上下方向に沿って長く形成される構成としている。

20

30

【0021】

そして、ステージ部 19 の上ステージ 20 は、図 2、3 に示すように、上面側で遊技球 B を転動可能な上転動面 21 を備え、上転動面 21 は、左右方向の中央付近となる中央部 22 を高くし、中央部 22 から左右に延びる左面部 27 と右面部 28 とを、それぞれ、中央部 22 から離れるに従って低くし、さらに、最も低い底部 27a、28a から外縁 27b、28b 側にかけて、徐々に高くするように構成されている。ワープ通路 17 の出口 17b は、中央部 22 側に向いて、左面部 27 の外縁 27b 付近に配設されている。そして、中央部 22 は、流入口 50 の前側に位置する前側部 23 に、流入口 50 への流入を補助するように流入口 50 の開口面積を前方側に広げる案内口 23a を設けて構成されている。案内口 23a の前側には、案内口 23a への遊技球 B の後方側への転動を僅かに邪魔するように、小さな突起 23b が設けられている。

40

【0022】

また、上ステージ 20 の後縁側には、図 1、2 に示すように、図柄表示装置 14 側との境界として、背面壁 30 が左右方向に沿って上方に突設され、背面壁 30 の左右方向の中央に流入口 50 が開口している。この流入口 50 は、案内口 23a とともに、左右方向の開口寸法 WH を、一個分の遊技球 B の直径寸法より僅かに大きな寸法（図 7 の A 参照）と

50

している。

【0023】

また、上ステージ20の上転動面21の前縁側には、図2に示すように、底部27a、28aより外縁27b、28b側のエリアに、下ステージ32と区画するための仕切壁40、41が左右方向に沿って配設されている。また、底部27a、28a間の上転動面21の前縁側には、下降時のリフト60側への遊技球Bの落下を防止する突条26が突設されている。さらに、突条26の前方側におけるリフト60の配設部位を除いたエリアでは、上ステージ20と下ステージ32とを区画する区画壁39が、上転動面21より上方に突出するように配設されている。

【0024】

ステージ部19の下ステージ32は、図2、4に示すように、上面側で遊技球Bを転動可能な下転動面33を備え、下転動面33は、左右方向の中央付近となる中央部34を低くし、中央部の左右両側を高くするように構成され、左右の外縁33a、33bに至る途中で、上ステージ20の上転動面21における左面部27と右面部28との底部27a、28a付近から、上転動面21と略面一の同じ曲面として構成されている。中央部34の後方側には、区画壁39の収納孔39aに収納された状態から上下往復移動を繰り返すリフト60が配設されている。そして、中央部34には、図4や図6のAに示すように、前部側に配置される二つの前下がりの傾斜面36、36と、後部側に配置されて遊技球Bをリフト60の支持面61側に案内可能な後下がりの一つの案内面35と、が配設されている。二つの傾斜面36、36は、遊技球Bを下ステージ32の前縁から飾り枠体13（センター役物16）外の下方向へ自由落下させて排出する排出路44を構成するものであり、二つの傾斜面36、36の間には、下方の始動入賞口9に入賞するように自由落下することを邪魔するように、小さな突起37が形成されている。また、下転動面33の前縁側には、傾斜面36、36と突起37とが配設されたエリアを除いて、すなわち、排出路44のエリアを除いて、遊技球Bの前方側への落下を防止可能な突条42、43が、小さな突出量として、上方に突設されている。

【0025】

また、上ステージ20の底部27a、28aの前方側には、仕切壁40、41と区画壁39との間に、上転動面21から下ステージ32の下転動面33に遊技球Bを転動させる連通口47、47が形成されている。

【0026】

そして、遊技球Bが、図4に示すように、リフト60の支持面61で支持されて上転動面21の中央部22まで持ち上げられ、流入口50に流入しなかった場合には、その遊技球Bは、図2に示すように、左面部27若しくは右面部28を底部27a、28a付近まで転動し、連通口47、47を経て、底部27a、28aから下ステージ32の下転動面33に転動し、そして、中央部34のリフト60付近まで転動し、排出路44から排出されなければ、再度、リフト60で持ち上げられて循環するようなループ動作する場合は生ずる。すなわち、左面部27や右面部28は、下転動面33とともに、連通口47、47を利用して、遊技球Bをループ動作で戻すような戻しルート46を構成している。

【0027】

リフト60は、図3～5に示すように、遊技球Bを、上面側の支持面61上に載せて下ステージ32側から上ステージ20側まで上昇可能として、上下往復移動を繰り返すものであり、実施形態の場合には、飾り枠体13の内部に配設された一つの電動モータ76を駆動源とした駆動機構75により、上下往復移動を繰り返している。

【0028】

駆動機構75は、簡単に説明すると、図8に示すように、電動モータ76の駆動軸76aに設けた偏心カム77、左右方向に往復移動可能に飾り枠体13内で支持されたカムレバー78、78R、上下方向に回動可能に飾り枠体13内で支持されたクランク80、80R、リンク79、79Rを備えて構成されている。そして、駆動機構75の作動時には、電動モータ76の駆動軸76aが回転駆動することにより、偏心カム77のピン77a

10

20

30

40

50

を摺動させる摺動溝 78 a を有したカムレバー 78 が、左右方向に往復移動し、カムレバー 78 の先端 78 b とクランク 80 の下アーム 80 b の先端とに回転自在に軸支されたリンク 79 を介して、クランク 80 を軸支部 80 a 回りで、上下方向に揺動させる。そして、クランク 80 が上下に揺動すれば、クランク 80 の上アーム 80 c の先端のピン 80 d を摺動溝部 67 内で左右に摺動させていたリフト 60 が、上下往復移動することとなる。なお、リフト 60 の右側のクランク 80 R、リンク 79 R、及び、カムレバー 78 R は、電動モータ 76 の駆動力が直接作用しないものの、左側のクランク 80、リンク 79、及び、カムレバー 78 と、略左右対称形に配設されて同様な動作を行って、リフト 60 をバランス良く上下往復移動させるように、配設されている。また、図 8 に示す符号 82 の部材は、カムレバー 78、78 R の左右方向の往復移動を支持する支持ガイドであり、符号 83 の部材は、クランク 80、80 R を回動自在に支持する支持軸であり、これらの支持ガイド 82 や支持軸 83 は、飾り枠体 13 の内部の部位に配設固定されている。さらに、リフト 60 は、区画壁 39 の収納孔 39 a の内周面 39 b に案内されて（図 7 の A 参照）、上下往復移動することとなる。

10

【0029】

リフト 60 は、図 8 に示すように、略長方形板状として、上面の全域を支持面 61 として構成されている。そして、支持面 61 の左右方向の幅寸法 WL は、図 7 の A に示すように、流入口 50 の左右方向の開口寸法 WH と、上ステージ 20 の戻しルート 46 における流入口 50 の左右にそれぞれ隣接する少なくとも遊技球 B の 1 個の直径寸法分とした隣接エリア 24、25 の左右方向の幅寸法 WA、WA と、を合わせた寸法以上として、流入口 50 の前側に配置されている。なお、実施形態の支持面 61 の左右方向の幅寸法 WL は、遊技球 B の直径寸法の約 4 倍の寸法に設定されている。また、支持面 61 の前後方向の奥行寸法 DL は、上転動面 21 や下転動面 33 の奥行寸法 DR と略等しく、遊技球 B の 1 個の直径寸法より僅かに大きな寸法としている（図 6 の A 参照）。

20

【0030】

また、リフト 60 は、図 6 の A に示すように、最下降時の支持面 61 の前縁 61 a を、下ステージ 32 の下転動面 33 の中央部 34 を転動する遊技球 B を受け入れ可能な高さ位置に配置させ、かつ、図 6 の B に示すように、最上昇時の支持面 61 の後縁 61 b 側を、流入口 50 の下縁付近の高さ位置に配置させるように、支持面 61 を上下動可能に配設されている。なお、実施形態の場合、支持面 61 は、最下降時の前縁 61 a を、下ステージ 32 の中央部 34 の案内面 35 に連なるように、設定され、最上昇時の支持面 61 の後縁 61 b は、実施形態の場合、突条 26 を僅かに超えた上方に配置されるように設定されている。

30

【0031】

そして、リフト 60 は、図 6～8 に示すように、支持面 61 が、リフト 60 の最上昇時に、流入口 50 と左右の隣接エリア 24、25 とにわたる前側に、後縁 61 b を配置させて、支持した遊技球 B を、流入口 50 若しくは左右の隣接エリア 24、25 に転動可能に、後下がりで、かつ、左右に揺動可能に支持するように、下方へ凹む凹面として、形成されている。さらに、実施形態の場合には、支持面 61 が、流入口 50 の前側の部位に、左右方向に沿う鉛直断面で最も低く凹む中央底部 62 を設け、中央底部 62 から左右両側に離れる左縁部 63 や右縁部 64 に従って高くなるような凹面として、形成されている。実施形態の場合、支持面 61 は、円弧の曲面の一部から構成され、その半径寸法 RL（図 7 の A 参照）は、遊技球 B の直径寸法の 20～40 倍程度の 200～400 mm 程度としている。

40

【0032】

さらに、リフト 60 には、図 4、5 に示すように、最上昇位置への配置時に、下ステージ 32 の下転動面 33 における中央部 34 の案内面 35 からリフト 60 側に転動する遊技球 B を分岐通路 53 を経て入賞補助通路 49 の流出側通路 52 へ流入可能に開口する第 2 流入口 69 が、開口している。この第 2 流入口 69 は、図 2、3 に示すように、リフト 60 の下降時には、下ステージ 32 の下転動面 33 の案内面 35 の下方に隠れるように形成

50

され、実施形態の場合、上縁側を半円形に開口させて、リフト60の下縁まで開口させた長穴状としている。そのため、実施形態のリフト60は、正面視として、上面を支持面61とした天井壁部65と、天井壁部65の左右両側から第2流入口69を間にして下方に延びる左右の支持脚部66、66と、を備えた門型(逆U字形)に形成されている(図8参照)。この第2流入口69の左右方向の開口寸法は、流入口50の開口寸法WHと等しく設定されて、一個分の遊技球Bの直径寸法より僅かに大きな寸法としている(図7のC参照)。なお、リフト60を上下動させる駆動機構75のクランク86、86Rのピン80dが摺動する摺動溝部67は、天井壁部65の後面側に設けられている。

【0033】

そして、リフト60の下部側における左右の支持脚部66、66の相互の対向部位には、図6～8に示すように、上下方向に延びる略半円板形状の干涉部71、71が形成されている。各干涉部71は、リフト60を形成した合成樹脂等の形成材料で一体的に形成されて、相互に接近するように配設されている。そして、干涉部71、71は、入賞補助通路49の周壁に設けられたスリット54を経て流出側通路52の内周側に延びるように配設されて、流出側通路52内を通過する遊技球Bを減速させて流出口51側へ案内可能に、遊技球Bに接触するように配設されている。この干涉部71は、リフト60の最上方位位置の配置時から、下転動面33の案内面35から上方に開口している第2流入口69が、開口面積をほぼ半分程度まで狭める高さ位置まで下降する際(図5、7のC、B参照)、流出側通路52の左右両側から流出側通路52の中心側へ延びるように配設されている。そして、流出側通路52を通過する遊技球Bが、干涉部71、71の後面の受止面71aに接触すれば、停止するまで減速されて、リフト60の更なる下降に伴い(図5、7のC、B、A参照)、干涉部71、71の受止面71aが遊技球Bの前面側から同時に離脱するように下方に移動して、遊技球Bは、一定の速度に減速された状態で流出口51側に転動し、落下する放物線を始動入賞口9へ入賞し易い軌跡となるように、始動入賞口9に入賞する確率を高めて、流出口51から流出(落下)することとなる(図6のB参照)。

【0034】

実施形態の遊技機1の作動を説明すれば、電源オンとともに、リフト60が、駆動機構75の作動によって上下往復移動を繰り返すこととなり、そして、遊技時、ワープ通路17の入口17aに遊技球Bが入球されれば、遊技球Bは、出口17bから上ステージ20の上転動面21の左面部27を中央部22側に駆け上がるように転動する(図3、4参照)。そして、遊技球Bが、流入口50に流入しなければ、その後、戻しルート46を経て、例えば、右面部28の底部28aから下ステージ32の下転動面33に転動し、中央部34のエリアに到達して、案内面35上に載り、その際、リフト60が最下降時に配置されていれば、支持面61上に案内されて、リフト60とともに上昇する。この時、図5のA、B、Cや図7のA、B、Cに示すように、リフト60に載った遊技球Bは、左右に揺動可能な凹面からなる支持面61上に載って上昇し、リフト60が支持面61を上ステージ20側の最上昇位置に配置させれば、支持面61上から流入口50若しくは隣接エリア24、25に転動する。そして、遊技球Bは、流入口50に流入しなければ、戻しルート46を経て、下流側の下ステージ32の中央部34のエリアにおける案内面35上に載り、その際、リフト60が上昇して、第2流入口69が開口していれば、第2流入口69に流入する(図6のB参照)。あるいは、遊技球Bが案内面35上に載った際に、リフト60が最下降位置に配置されていれば、再度、リフト60の支持面61で受け止められ(図6のA参照)、そして、上ステージ20側に移送され、流入口50に流入するか、あるいは、戻しルート46を経て、リフト60付近まで戻され、第2流入口55に流入するか、排出路44から排出される、あるいは、再度、リフト60で移送されて既述のループ動作を行うこととなって、排出路44から排出される場合を除いて、流入口50若しくは第2流入口69に流入可能となる。そして、これらの入賞補助通路49の流入口50、69に遊技球Bが流入すれば、既述したように、遊技球Bは、自重により、流出口51まで転動し、流出口51から始動入賞口9側へ流出されることとなる。

【0035】

その際、実施形態では、入賞補助通路49内の流出側通路52に、リフト60の下部側に配置されて流出側通路52を通過する遊技球Bを減速させて流出口51側へ案内するように、流出側通路52内を通過する遊技球Bと接触可能な干渉部71が、配設されており、干渉部71により流出口51から流出する遊技球Bは、減速されて、始動入賞口9への入賞確率を高められて、始動入賞口9側に落下しつつ流出することとなる（図6のB参照）。

【0036】

そして勿論、ステージ部19には、遊技球Bをステージ部19から排出させる排出路44が配設されており、遊技球Bが流入口50、69に流入しなければ、排出路44から排出されてしまう。

10

【0037】

そして、実施形態の遊技機1の干渉部71は、入賞補助通路49（流出側通路52）内に配設されており、入賞補助通路49自体が、流出口51をステージ部19の下方に位置した始動入賞口9の上方で開口させて、流入口50、69から流入した遊技球Bを、始動入賞口9へ入り易くするように流出口51から流出させるものであり、遊技球Bが流入口50、69へ流入すれば、干渉部71により、一層、入賞確率を高められて、流出口51から始動入賞口9側へ流出されることから、流入口50、69の存在価値が高まり、流入口50、69へ入るか、あるいは、排出路44から排出されてしまうかと、遊技者にハラハラドキドキさせて、遊技の趣向性を向上させることができる。

【0038】

20

したがって、実施形態の遊技機1では、ステージ部19上を転動して流入口50、69に流入した遊技球Bを、ステージ部19の下方に配置された始動入賞口9への入賞確率を高めて、ステージ部19の流出口51から流出させることができ、さらに、入賞補助通路49の流入口50、69の存在価値が高まり、流入口50、69に入るか否かと、遊技者にハラハラドキドキさせることができ、遊技の趣向性を高めることができる。

【0039】

特に、実施形態の遊技機1では、入賞補助通路49における流出口51側の流出側通路52に、リフト60側に延びる分岐通路53を設け、そして、リフト60には、最上昇位置への配置時に、下ステージ32の下転動面33の案内面35からリフト60側に転動する遊技球Bを分岐通路53を経て流出側通路52へ流入可能に開口し、かつ、下降時に下ステージ32の案内面35の下方に隠れる第2流入口69が、配設されている。そのため、実施形態では、上ステージ20側に開口した第1の流入口50への流入を逃した遊技球Bを、リフト60の上昇時に開口する第2流入口69に流入させて、入賞補助通路49の流出口51から始動入賞口9に入球させることができ（図6のB参照）、遊技者に、入賞補助通路49への遊技球Bの流入の期待感を増進させることができる。また、この第2流入口69は、常時開口している訳ではなく、リフト60の下降に伴って閉口するものであって、リフト60の上下往復移動に伴って開閉を繰り返すことから、第2流入口69に入るか否かと遊技者にハラハラドキドキさせることができ、一層、遊技の趣向性を向上させることができる。

30

【0040】

40

さらに、実施形態の遊技機1では、入賞補助通路49における流出口51側の流出側通路52が、リフト60の支持面61の下方で、前後方向に貫通するように配設され、リフト60には、下部に、入賞補助通路49の流出側通路52の内周側に延びて、流出側通路52内の遊技球Bを減速させて流出口51側へ案内可能に、遊技球Bに接触する干渉部71が、配設されている。すなわち、実施形態では、干渉部71を、支持面61で支持した遊技球Bを流入口50に流入可能に上下動を繰り返すリフト60に、設けており、別途、干渉部71を配設しなくともよく、部品点数を少なく構成できる。そして特に、干渉部71が、上下動を繰り返すリフト60に配設されていれば、干渉部71の遊技球Bに接触するタイミングや接触の程度を、リフト60の上下動に伴って種々設定でき、遊技球Bの減速の有無や減速の程度の調整や設定を、容易に行うことができる。

50

【0041】

ちなみに、実施形態では、干渉部71の構成として、リフト60の最上方位位置の配置時から、下転動面33の案内面35から上方に開口している第2流入口69が、開口面積をほぼ半分程度まで狭める高さ位置まで下降する際、流出側通路52の左右両側から流出側通路52の中心側へ延びるように配設されている(図5, 7のC, B参照)。そして、流出側通路52を通過する遊技球Bは、リフト60の上昇時に、干渉部71, 71の後面の受止面71aに接触して停止する構成として、リフト60の下降に伴い、干渉部71, 71の受止面71aが遊技球Bの前面側から離脱するように下方に移動して、遊技球Bは、減速された状態で流出口51側に転動し、落下する放物線を始動入賞口9へ入賞し易い軌跡として、始動入賞口9に入賞する確率を高めて、流出口51から流出している。すなわち、実施形態では、リフト60の最上昇時付近のタイミングで、流出側通路52に干渉部71, 71を配置させて、リフト60の最下降時に、干渉部71, 71の受止面71aを流出側通路52から離脱させる構成としている。そのため、リフト60の最上昇時に、支持面61上で支持した遊技球Bが、流入口50に流入して直ちに、流出側通路52を流出口51側に転動しても、あるいは、リフト60の上昇に伴って開口した第2流入口69から遊技球Bが流入しても、共に、それらの遊技球Bを干渉部71, 71の受止面71aが受け止めて、そして、リフト60の下降に伴って、それらの遊技球Bを減速させた状態で流出口51側に転動できる。その結果、リフト60の上昇に伴って流入口50に流入した遊技球Bや第2流入口69に流入した遊技球Bは、タイミング良く配置された干渉部71によつて的確に減速されて、始動入賞口9への入賞確率をより高めた安定した速度で、流出口51から流出できる。

10

20

【0042】

上記の点を考慮しなければ、図9, 10に示すリフト60Aの干渉部71A, 71Aのように構成してもよい。この干渉部71A, 71Aでは、リフト60Aの最下降時付近において、後面側の受止面71aが、入賞補助通路49の周壁のスリット54を経て流出側通路52の内周側に侵入して、流出口51側へ通過する遊技球Bを減速させるように停止させる。そして、リフト60Aの上昇時、干渉部71A, 71Aは、その受止面71aを遊技球Bの前面から同時に上方に離脱させて、減速させた状態で遊技球Bを流出口51側に転動させることとなり、このような干渉部71A, 71Aを、リフト60Aに設けてもよい。

30

【0043】

なお、実施形態の干渉部71は、リフト60の最下降時の時期付近に流出側通路52を通過する遊技球Bには接触せず、その遊技球Bを減速できないように設定されている。また、図9, 10に示すリフト60Aの干渉部71Aは、リフト60Aの最上昇時の時期付近に流出側通路52を通過する遊技球Bには接触せず、その遊技球Bを減速できないように設定されている。

【0044】

上記の点を改良する場合には、図11, 12に示すリフト60Bのように、リフト60Bの最上昇位置付近と最下降位置付近とにおいて、流出側通路52を通過する遊技球Bと接触可能な干渉部71B, 71Bを、リフト60に設けてもよい。この干渉部71B, 71Bは、ある程度の形状保持性を有して弾性変形可能なゴムや合成樹脂から形成される薄肉状のヒレ部72, 72から構成されている。そして、各ヒレ部72, 72は、相互に左右対称形として、入賞補助通路49の周壁のスリット54を経て流出側通路52内に侵入して、リフト60が最上昇位置付近と最下降位置付近とに配置される際に、流出側通路52を通過する遊技球Bと接触可能な二つの凸板部72a, 72bを備えるとともに、凸板部72a, 72b間に、左右のヒレ部72, 72間に遊技球Bの外径寸法より僅かに大きな開口を形成可能な凹部72cを設けて構成されている。

40

【0045】

このような干渉部71B, 71Bでは、流出側通路52を流出口51側に通過する遊技球Bが、凸板部72a, 72bの後面側の受止面71aに当たって減速されるように停止

50

され、遊技球 B の前面側から凸板部 7 2 a, 7 2 b の受止面 7 1 a が同時に離脱して、遊技球 B が減速された状態で、流出口 5 1 側に転動したり、あるいは、遊技球 B が、左右の凹部 7 2 c, 7 2 c 間をヒレ部 7 2, 7 2 に接触せずに通過して、減速されずに流出口 5 1 側に転動する。さらに、ヒレ部 7 2 の凸板部 7 2 a, 7 2 b の一部に接触して、遊技球 B が、左右のヒレ部 7 2 の一部を均等に弾性変形させるように撓ませつつ、減速する程度を少なくして、流出口 5 1 側に転動させることができる。このような干渉部 7 1 B では、通過時の遊技球 B に対する減速状態を変動可能に、遊技球 B に対する接触抵抗を上下にわたって変化させるように、内縁を凹凸状に形成しており、リフト 6 0 B の上下往復移動する際のタイミングに応じて、遊技球 B の減速の程度を異ならせて、遊技球 B を流出口 5 1 側に転動させることができる。

10

【0046】

なお、図例では、リフト 6 0, 6 0 A, 6 0 B に設けた第 2 流入口 6 9 の下方に、遊技球 B の前面の左右両側に接触する干渉部 7 1, 7 1 A, 7 1 B を設けた場合を示したが、第 2 流入口 6 9 を開口させていないリフトに、遊技球 B に干渉する干渉部を設けてもよい。例えば、図 1 3 ~ 1 5 に示すリフト 6 0 C では、下部側の下縁が、干渉部 7 1 C として、その後面を、遊技球 B の前面の中央付近を受け止めて停止させる受止面 7 1 a としている。このリフト 6 0 C は、リフト 6 0 A と同様に、上下往復移動を繰り返すように作動され、下降時に、流出側通路 5 2 を通過する遊技球 B の前面側に受止面 7 1 a を配置させ、そして、上昇時、干渉部 7 1 C の受止面 7 1 a を遊技球 B の前面から上方に離脱させて、減速させた状態で遊技球 B を流出口 5 1 側に転動させるように構成されている。なお、この干渉部 7 1 C も、図 1 1, 1 2 に示すリフト 6 0 B のヒレ部 7 2 と同様に、ある程度の形状保持性を有して弾性変形可能なゴムや合成樹脂から形成してもよい。

20

【0047】

また、図 1 6, 1 7 に示すリフト 6 0 D のように、干渉部 7 1 D が、流出口 5 1 に向けて左右方向の幅寸法を徐々に狭めるような前後方向の横断面をテーパ面状として、構成されてもよい。この干渉部 7 1 D, 7 1 D では、前方に向かうにつれて相互に接近するように相互に対向するテーパ面を、案内面 7 1 b として配設している。案内面 7 1 b, 7 1 b 相互の前方側の開口寸法 W E は、遊技球 B の直径寸法より僅かに大きな寸法に設定されている。そのため、この干渉部 7 1 D, 7 1 D では、遊技球 B の前面の左右両側に均等に案内面 7 1 b, 7 1 b を接触させ、遊技球 B を減速させつつ、遊技球 B の前方側に向かう直進性を高めて、始動入賞口 9 への入賞確率をより高めた安定した速度で、流出口 5 1 から流出させることができる。なお、このリフト 6 0 D は、上下往復移動を繰り返すように構成されているが、干渉部 7 1 D が、入賞補助通路 4 9 の流出側通路 5 2 の周壁のスリット 5 4 に対して、上下方向に沿って同一横断面形状とし挿通されており、リフト 6 0 D の最上昇位置や最下降位置の配置に無関係に、流出側通路 5 2 を通過する遊技球 B を、減速させつつ、前方側に向かう直進性を高めさせて、流出口 5 1 側に案内することができる。この点を考慮しなければ、干渉部 7 1 D の配置を上下にずらしたり、案内面 7 1 b, 7 1 b の相互の交差角度を広げたりして、リフト 6 0 D の最上昇位置や最下降位置への配置時に、適宜、干渉部 7 1 D が流出側通路 5 2 を通過する遊技球 B に接触するように構成してもよい。

30

40

【0048】

さらに、図 1 8, 1 9 に示すように、上下往復移動するリフト 6 0 E に干渉部を設けずに、入賞補助通路 4 9 の流出側通路 5 2 の内周面自体に、干渉部 7 1 E を設けてもよい。この干渉部 7 1 E, 7 1 E も、前方に向かうにつれて相互に接近するように相互に対向するテーパ面を、案内面 7 1 b として配設している。勿論、これらの案内面 7 1 b, 7 1 b 相互の前方側の開口寸法 W E も、遊技球 B の直径寸法より僅かに大きな寸法に設定されている。そして、この干渉部 7 1 E, 7 1 E でも、遊技球 B の前面の左右両側に均等に案内面 7 1 b, 7 1 b を接触させて、遊技球 B を減速させつつ、遊技球 B の前方側に向かう直進性を高めて、始動入賞口 9 への入賞確率をより高めた安定した速度で、遊技球 B を流出口 5 1 から流出させることができる。

50

【0049】

あるいは、入賞補助通路49自体に設ける干渉部71Fとしては、図20に示すように、図11、12に示すリフト60Bのヒレ部72と同様に、ある程度の形状保持性を有して弾性変形可能なゴムや合成樹脂から形成してもよい。この干渉部71F、71Fでは、遊技球Bの前面に左右で均等に撓みつつ接触するように配設されており、遊技球Bとの接触時、案内面71bと同様に、前方側への直進性を付与しつつ遊技球Bを減速させることができる。

【0050】

さらに、実施形態では、ステージ部19への遊技球Bの入球が、パイプ状のワープ通路17からなる入球口を使用して行われる場合を例示したが、単に、飾り枠体13の内外を貫通する入球口を利用して、ステージ部19上に遊技球Bを入球させるように構成してもよい。

【0051】

さらにまた、リフト60、60A、60B、60C、60D、あるいは、ステージ部19の中央部22、34付近は、内部を通過する遊技球Bを視認できるように、ある程度の透明度を有した合成樹脂材料等からなる透明体（若しくは半透明体）から形成してもよい。

【0052】

さらに、入賞補助通路49に設ける干渉部71、71A、71B、71C、71D、71E、71Fは、流入口50、69に近い部位に配設してもよいが、流出口51から流出する遊技球Bの速度を低速にすることを考慮すれば、流出口51に近いエリアの流出側通路52に、配設することが望ましい。

【図面の簡単な説明】

【0053】

【図1】本発明の一実施形態のパチンコ遊技機における遊技盤面を示す概略正面図である。

【図2】実施形態のセンター役物を示す左方から見た概略斜視図であり、リフトの最下降時の状態を示す。

【図3】実施形態のセンター役物を示す右方から見た概略斜視図であり、リフトの最下降時の状態を示す。

【図4】実施形態のセンター役物を示す右方から見た概略斜視図であり、リフトの上昇時の状態を示す。

【図5】実施形態のリフト付近の概略正面図であり、最下降位置から最上昇位置まで上昇する状態を順に示す。

【図6】実施形態のリフト付近における図5のAのVI-VI部位に対応する前後方向に沿った概略縦断面図であり、リフトの最下降時と最上昇時との状態を示す。

【図7】実施形態のリフト付近における図6のAのVII-VII部位に対応する左右方向に沿った概略縦断面図であり、リフトの最下降位置から最上昇位置まで順に上昇する状態を示す。

【図8】実施形態のリフトとその駆動機構を示す概略斜視図である。

【図9】実施形態の変形例のリフトを使用した遊技機のリフト付近の左右方向に沿った概略縦断面図であり、リフトの最下降位置から最上昇位置まで上昇する状態を示す図である。

【図10】図9に示すリフトを使用した遊技機のリフト付近における前後方向に沿った概略縦断面図であり、リフトの最下降時と最上昇時との状態を示す。リフトの斜視図である。

【図11】実施形態の他の変形例のリフトを使用した遊技機のリフト付近の左右方向に沿った概略縦断面図であり、リフトの最下降位置から最上昇位置まで上昇する状態を示す図である。

【図12】図11に示すリフトを使用した遊技機のリフト付近における前後方向に沿った

10

20

30

40

50

概略縦断面図であり、リフトの最下降時と最上昇時との状態を示す。

【図 1 3】実施形態の他の変形例のリフトを使用したステージ部を示す斜視図であり、リフトの最下降時の状態を示す。

【図 1 4】図 1 3 に示すリフトの上昇時の状態を示すステージ部の斜視図である。

【図 1 5】図 1 3 に示すリフトを使用した遊技機のリフト付近の前後方向に沿った概略縦断面図であり、リフトの最下降位置から最上昇位置まで上昇する状態を示す図である。

【図 1 6】実施形態のさらに他の変形例のリフトを使用した遊技機のリフト付近の左右方向に沿った概略縦断面図であり、リフトの最下降位置から最上昇位置まで上昇する状態を示す図である。

【図 1 7】図 1 6 の A の XVII-XVII 部位の概略横断面図である。

10

【図 1 8】実施形態のさらに他の変形例のリフトを使用した遊技機のリフト付近の前後方向に沿った概略縦断面図であり、リフトの最下降位置から最上昇位置まで上昇する状態を示す図である。

【図 1 9】図 1 8 の A の XIX-XIX 部位の概略横断面図である。

【図 2 0】実施形態のさらに他の変形例の干渉部を示す概略横断面図である。

【符号の説明】

【0 0 5 4】

1 … (パチンコ) 遊技機、

9 … (始動) 入賞口、

1 6 … センター役物、

20

1 7 … (ワープ通路) 入球口、

1 9 … ステージ部、

2 0 … 上ステージ、

3 2 … 下ステージ、

4 4 … 排出路、

4 6 … 戻しルート、

4 9 … 入賞補助通路、

5 0 … 流入口、

5 1 … 流出口、

5 2 … (流出口側の部位) 流出側通路、

30

6 0, 6 0 A, 6 0 B, 6 0 C, 6 0 D, 6 0 E … リフト、

6 1 … 支持面、

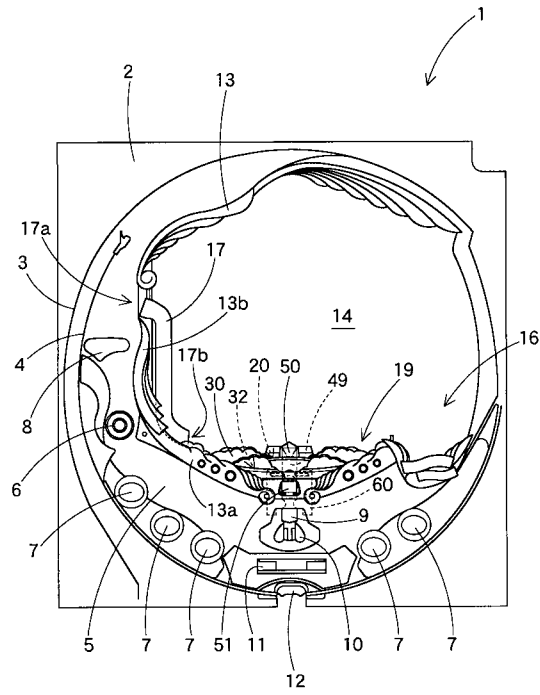
6 9 … 第 2 流入口、

7 1, 7 1 A, 7 1 B, 7 1 C, 7 1 D, 7 1 E, 7 1 F … 干渉部、

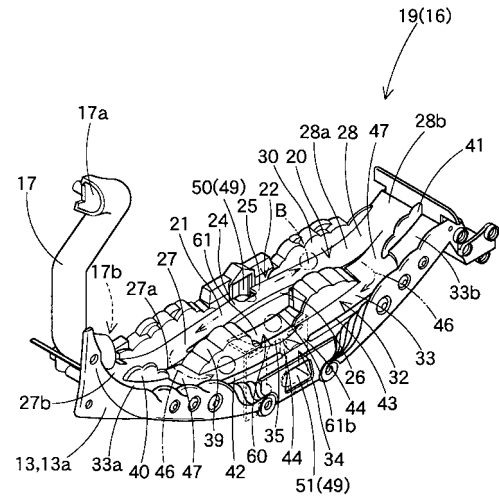
7 1 a … 受止面、

B … 遊技球。

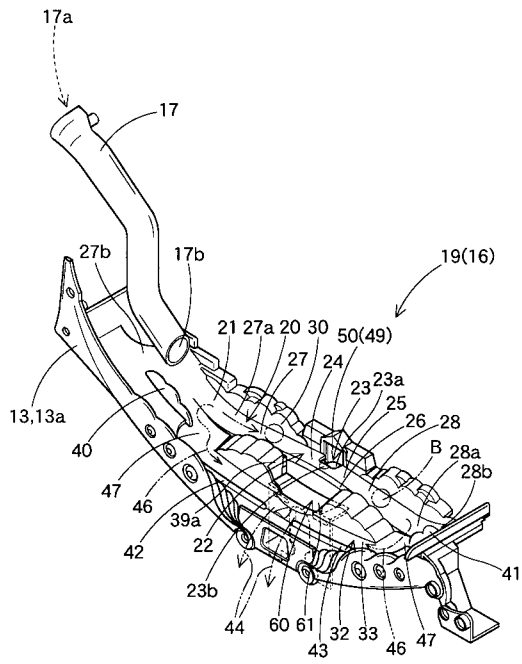
【図 1】



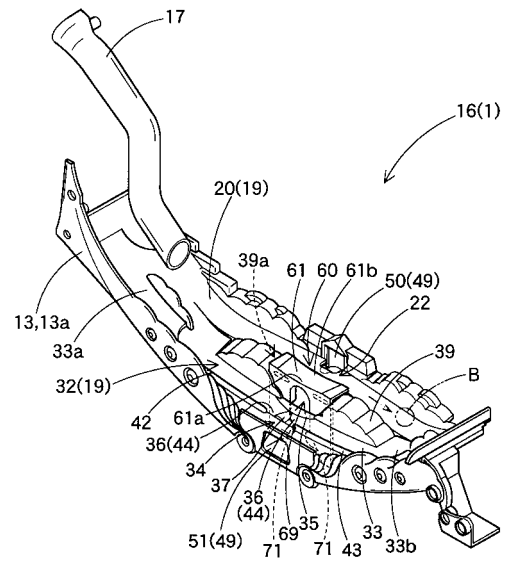
【図 2】



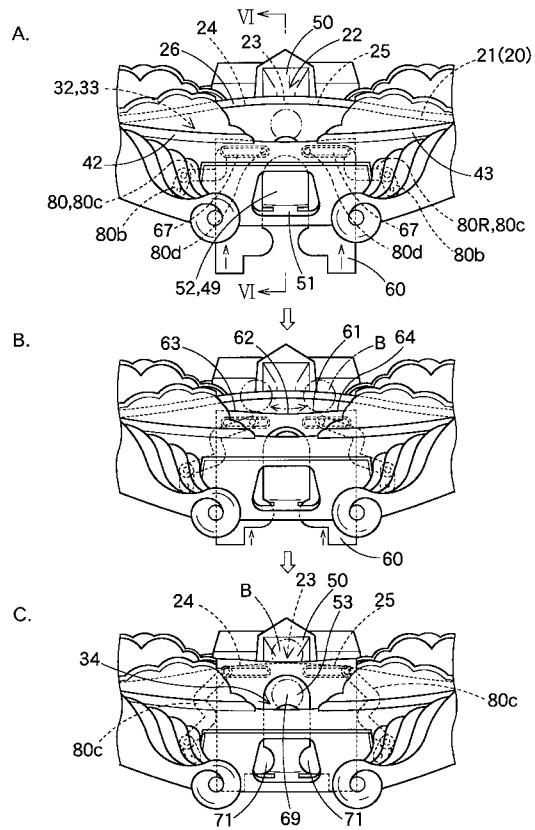
【図 3】



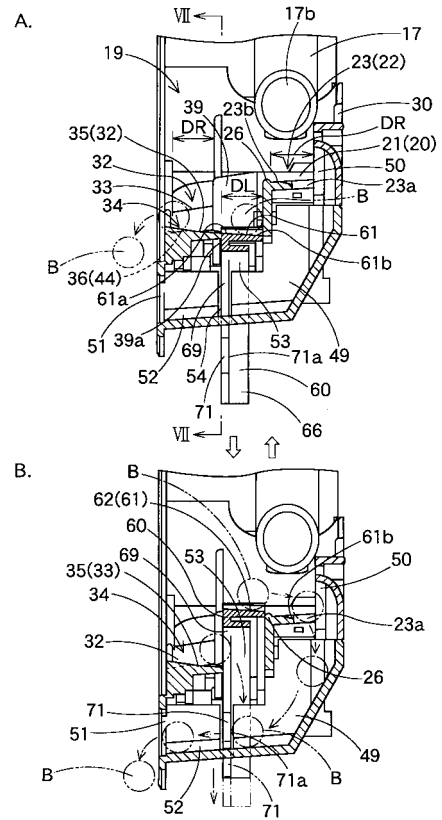
【図 4】



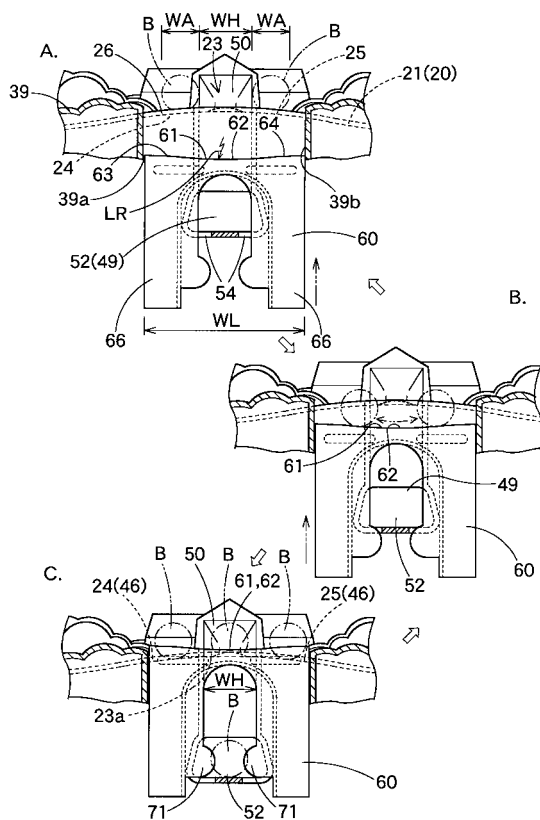
【図 5】



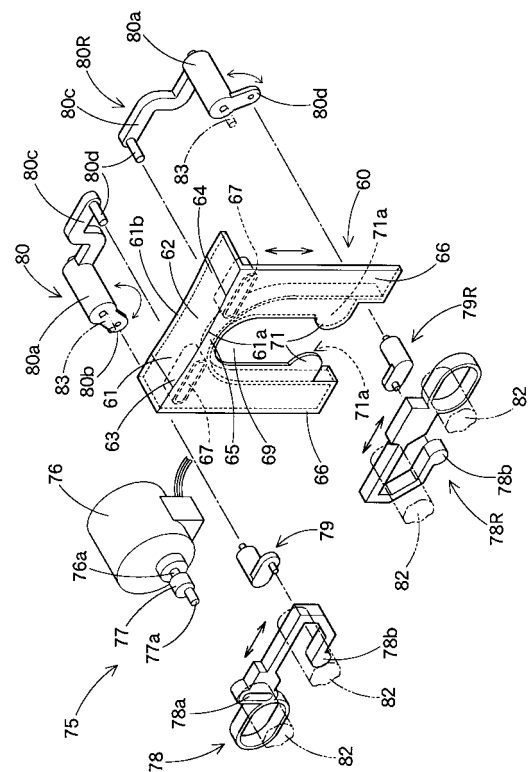
【図 6】



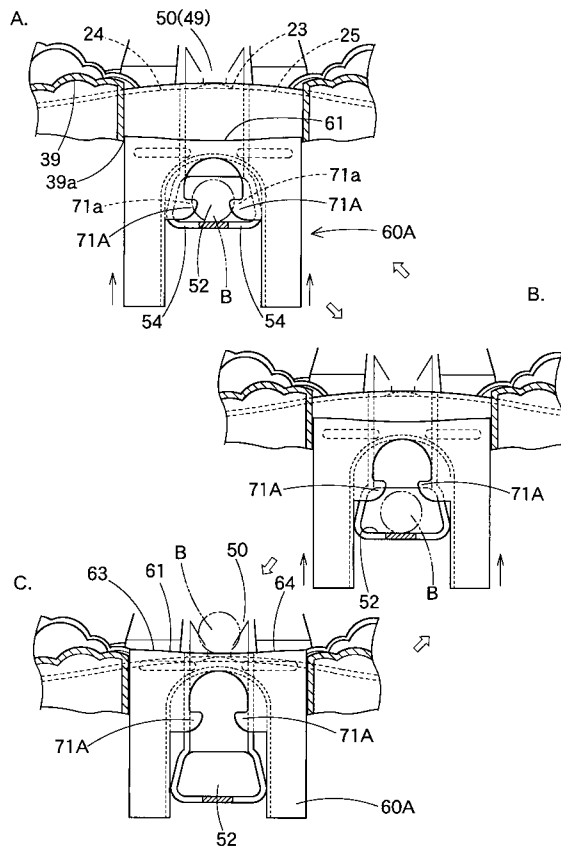
【図 7】



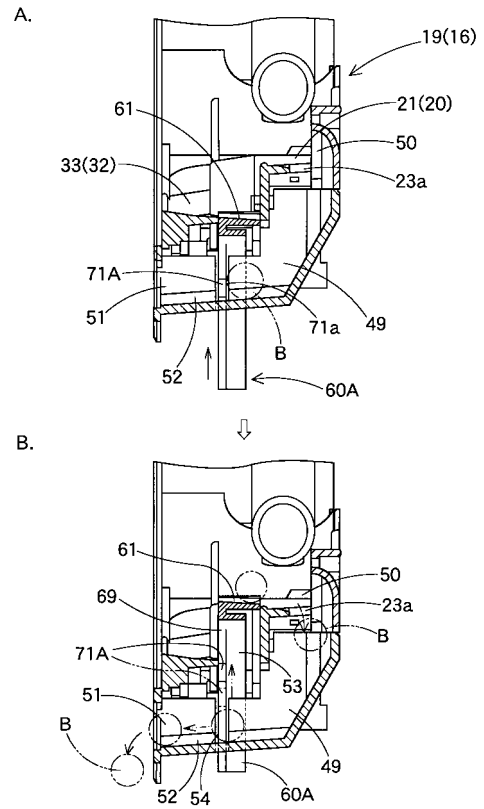
【図 8】



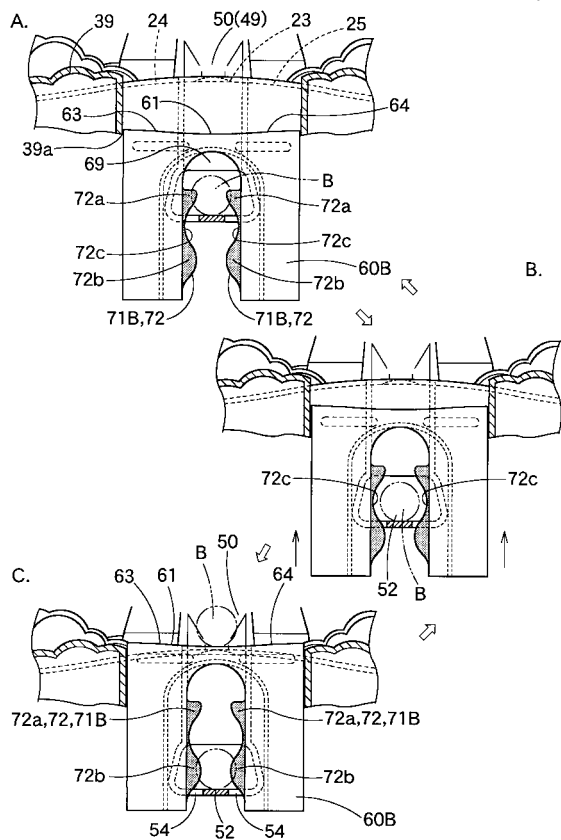
【図 9】



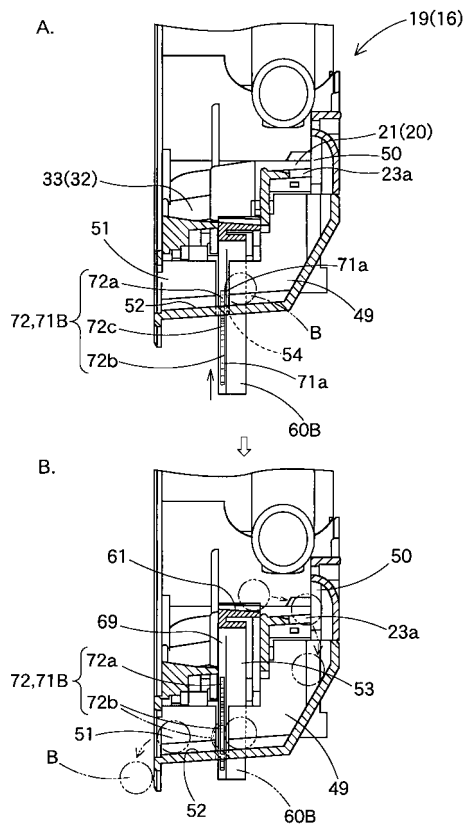
【図 10】



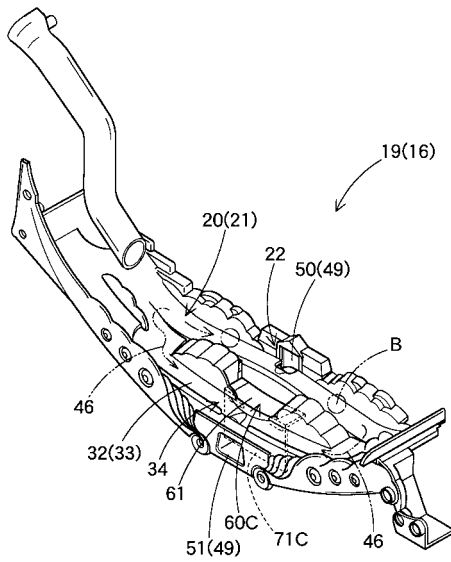
【図 11】



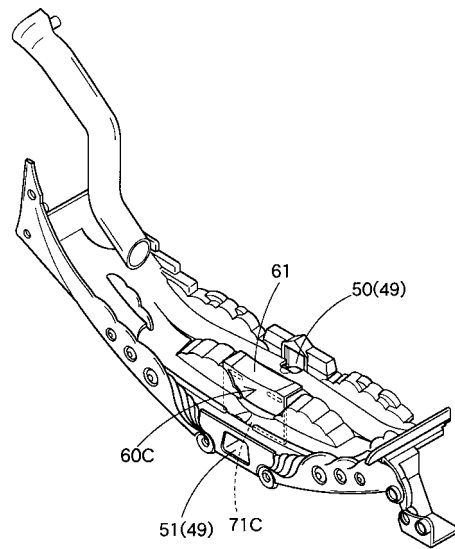
【図 12】



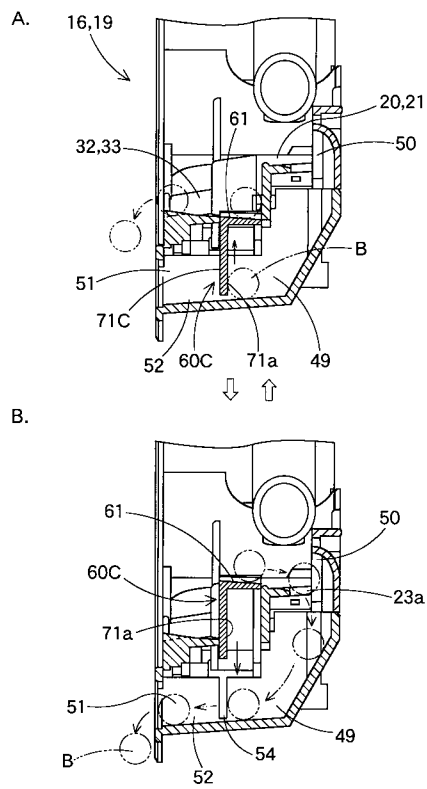
【図 13】



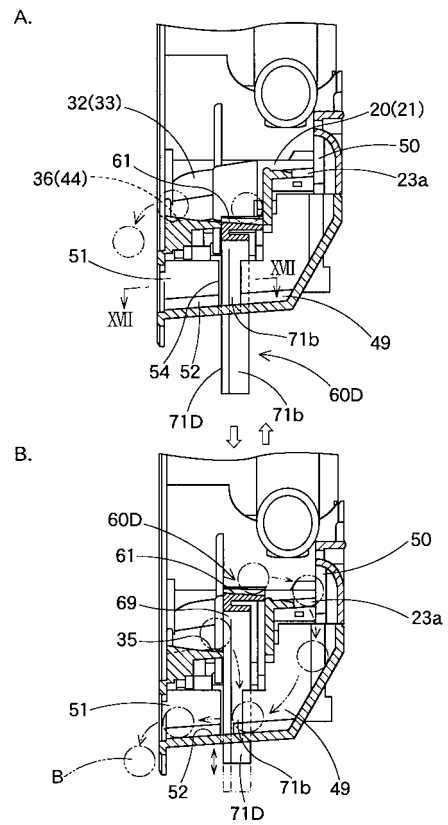
【図 14】



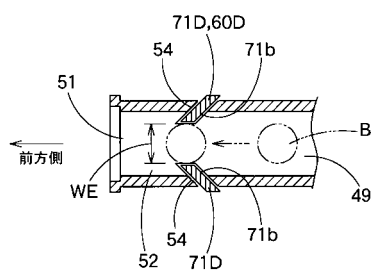
【図 15】



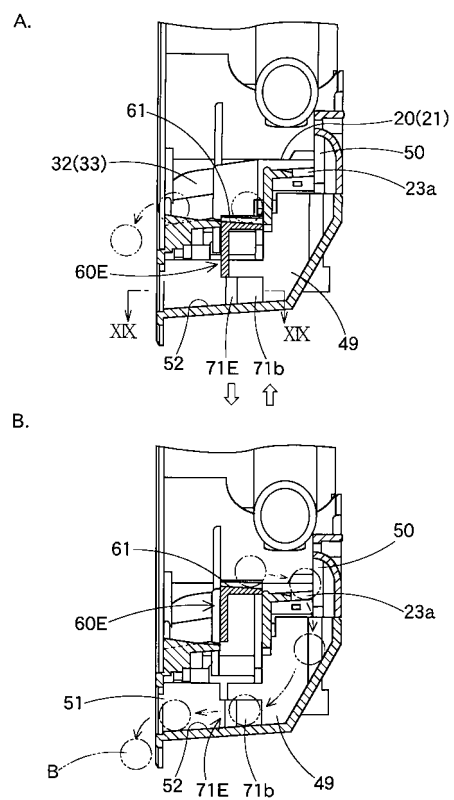
【図 16】



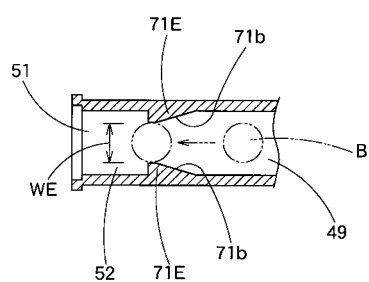
【图 17】



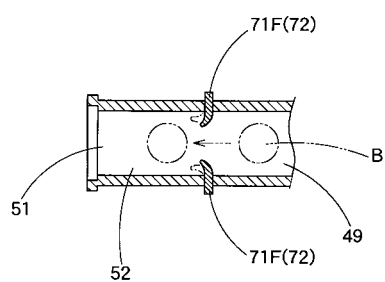
【図 18】



【図 19】



【図 20】



フロントページの続き

審査官 酒井 保

(56)参考文献 特開2006-136501 (J P, A)
特開2007-330294 (J P, A)

(58)調査した分野(Int.Cl., D B名)
A 6 3 F 7 / 0 2